

目次

1. 工作機械統計・産業動向

- ◆米国工作機械受注統計(7月) 1
- ◆米国工作機械受注統計(地域別) 2
- ◆台湾工作機械輸出入統計(2013年1~4月) 2

2. 主要国・地域経済動向

- ◆米国:製造業設備稼働率は若干減少(8月) 3
- ◆米国:PMI 55.7%(8月) 3
- ◆独機械輸出、上期3.2%減に 4
- ◆独機械業界受注3カ月連続減に、7月-3% 4
- ◆欧州:EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と
資本財生産月次推移(8月) 4
- ◆ロシアの工具市場が拡大 5

3. 工作機械関連企業動向

- ◆Hardinge Inc.、2013年第2四半期の財務報告 5

4. その他

- ◆ユーザー関連トピックス 6

5. 日工会外需状況(8月) 11

1. 工作機械統計・産業動向

◆米国工作機械受注統計(7月)

AMT(米国製造技術工業協会)発表の受注統計(USMTO)によると、2013年7月の米国切削型工作機械受注は、3億4,119万ドルで前月比15.3%減、前年同月比11.1%減となった。

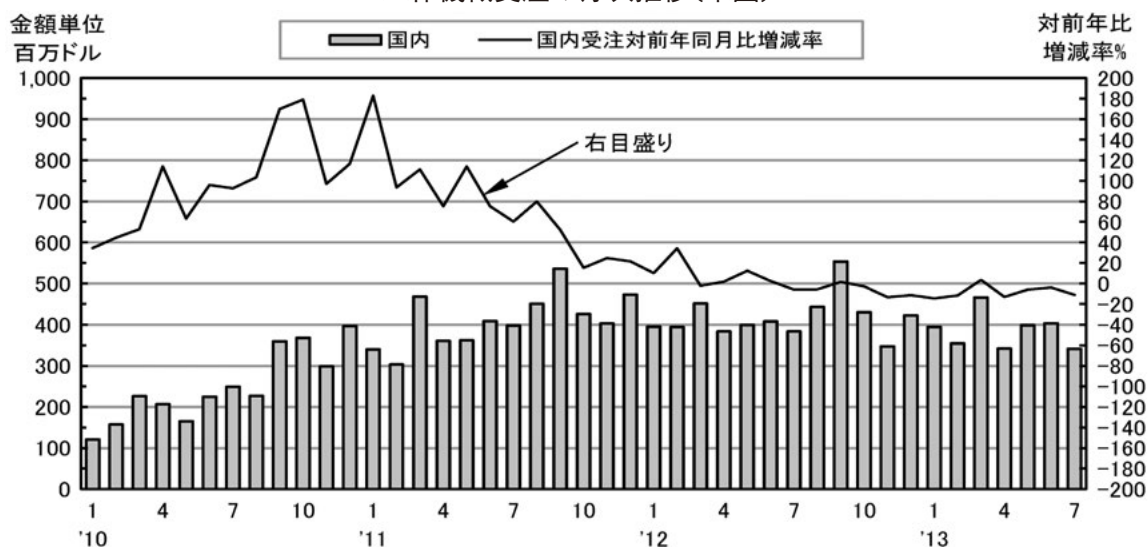
AMTのWoods専務理事は「受注の低迷は、夏季においては、通常のことであり、下落を示している耐久財消費や、不調な工業生産など他の月次指数と一致している。この季節要因による低調にも拘わらず、大きな視野で見た製造業は、楽観的見通しがある。USMTOの地域別受注において、北東部、西部では、精密部品や航空産業関連の好調により、過去15年間の最高平均値と最高額を記録した。一方、PMI指数は、3カ月連続増加を記録している。穏やかではあるが、堅調な成長が年末まで続くものと予測している。」と述べた。

(USMTO レポート 9月9日付)

米国工作機械(切削型)受注統計
(金額単位:千ドル)

年 月	受 注	
	台 数	金 額
2012年1月	1,921	394,910
2月	2,086	394,157
3月	2,359	451,342
4月	2,142	383,431
5月	2,044	399,402
6月	2,047	408,260
7月	1,906	383,592
8月	2,095	443,203
9月	2,882	553,733
10月	2,332	430,213
11月	2,182	346,851
12月	2,295	422,142
2012年累計	26,291	5,011,236
2013年1月	1,921	394,355
2月	2,003	354,269
3月	2,208	465,790
4月	1,922	342,134
5月	2,167	398,847
6月	2,155	402,675
7月	1,937	341,191
2013年累計	14,313	2,699,261

工作機械受注の月次推移(米国)



◆米国工作機械受注統計(地域別)

(単位：百万ドル)

地域別		2013年7月 (P)	2013年6月	前月比 (%)	前年同月	前年同月比 (%)	2013年累計 (P)	2012年累計 (R)	前年同期比 (%)
全米	切削型	341.19	402.68	-15.3	383.59	-11.1	2,642.91	2,817.26	-6.2
	成形型	10.02	57.23	-82.5	75.84	-86.8	282.21	334.84	-15.7
	計	351.21	459.91	-23.6	459.44	-23.6	2,925.12	3,152.10	-7.2
北東部	切削型	70.85	64.69	9.5	65.11	8.8	444.51	426.43	4.2
	成形型	2.87	5.87	-51.1	2.07	38.6	37.71	39.14	-3.7
	計	73.72	70.56	4.5	67.18	9.7	482.22	465.57	3.6
南東部	切削型	33.76	42.83	-21.2	45.64	-26.0	237.47	293.74	-19.2
	成形型	1.19	10.70	-88.8	4.94	-75.9	35.28	31.74	11.2
	計	34.95	53.53	-34.7	50.58	-30.9	272.75	325.48	-16.2
北中東部	切削型	79.28	105.29	-24.7	99.05	-20.0	666.00	702.54	-5.2
	成形型	2.87	18.27	-84.3	10.56	-72.8	81.12	103.71	-21.8
	計	82.15	123.56	-33.5	109.61	-25.0	747.12	806.25	-7.3
北中西部	切削型	55.68	76.27	-27.0	65.15	-14.5	485.60	502.35	-3.3
	成形型	1.62	8.66	-81.3	13.94	-88.4	69.33	69.50	-0.2
	計	57.30	84.93	-32.5	79.10	-27.6	554.93	571.85	-3.0
南中部	切削型	56.97	60.67	-6.1	66.15	-13.9	422.76	539.74	-21.7
	成形型	1.08	5.38	-80.0	2.08	-48.2	21.48	23.48	-8.5
	計	58.05	66.04	-12.1	68.23	-14.9	444.25	563.22	-21.1
西部	切削型	44.65	52.92	-15.6	42.49	5.1	386.58	352.45	9.7
	成形型	0.39	8.35	-95.4	42.25	-99.1	37.28	67.28	-44.6
	計	45.04	61.27	-26.5	84.74	-46.9	423.85	419.73	1.0

P：暫定値 R：改定値

四捨五入により合計値及び％は一致しない場合がある。

出所：USMTO

◆台湾工作機械輸出入統計(2013年1～4月)

台湾工作機械機種別輸出入統計(2013年1～4月)

(単位：千USドル)

機種名	輸 出			輸 入		
	2013.1-4	2012.1-4	前年比(%)	2013.1-4	2012.1-4	前年比(%)
放電加工機	44,530	50,304	-11.5	70,271	61,203	14.8
マシニングセンタ	329,123	458,337	-28.2	25,004	36,520	-31.5
旋盤	241,315	326,627	-26.1	25,557	27,369	-6.6
ボール盤・フライス盤・中ぐり盤	118,814	132,173	-10.1	9,672	10,013	-3.4
研削盤	72,052	109,818	-34.4	26,767	27,494	-2.6
歯切り盤・歯車機械	61,298	70,570	-13.1	18,674	10,869	71.8
切 削 型 合 計	867,132	1,147,829	-24.5	175,945	173,468	1.4

出所：海関進出口統計月報

台湾工作機械国別輸出入統計(2013年1～4月)

(単位: 千USドル)

輸 出					輸 入				
順位	国 別	2013.1-4	2012.1-4	前年比(%)	順位	国 別	2013.1-4	2012.1-4	前年比(%)
1	中国・香港	365,055	451,745	-19.2	1	日 本	110,825	128,534	-13.8
2	米 国	132,360	154,799	-14.5	2	中国+香港	26,294	22,364	17.6
3	タ イ	75,487	86,658	-12.9	3	ド イ ツ	26,285	19,670	33.6
4	ト ル コ	50,679	70,284	-27.9	4	ス イ ス	14,568	8,055	80.9
5	インドネシア	34,622	39,359	-12.0	5	米 国	11,808	10,151	16.3
6	ド イ ツ	30,812	45,755	-32.7	6	韓 国	6,163	6,336	-2.7
7	イ ン ド	29,911	38,068	-21.4	7	イ タ リ ア	4,077	4,519	-9.8
8	オ ラ ン ダ	29,508	33,606	-12.2	8	シンガポール	2,096	677	209.6
9	韓 国	29,508	33,413	-11.7	9	英 国	568	1,565	-63.7
	そ の 他	317,392	408,964	-22.4		そ の 他	12,414	4,973	149.6
	合 計	1,095,334	1,362,651	-19.6		合 計	215,098	206,444	4.0

出所: 海関進出口統計月報

2. 主要国・地域経済動向

◆米国: 製造業設備稼働率は若干減少(8月)

2013年8月の設備稼働率(速報値)は、全製造業で76.1%、耐久財製造業で76.2%、機械製造業で81.3%となった。

前月比で見ると、全製造業では+0.4、耐久財製造業では+0.7、機械製造業では+0.4ポイント増加している。

一方、前年同月比で見ると全製造業では+0.7ポイントであった。

米国製造業の設備稼働率月次推移



(FRB Statistical Release G.17/9月16日付)

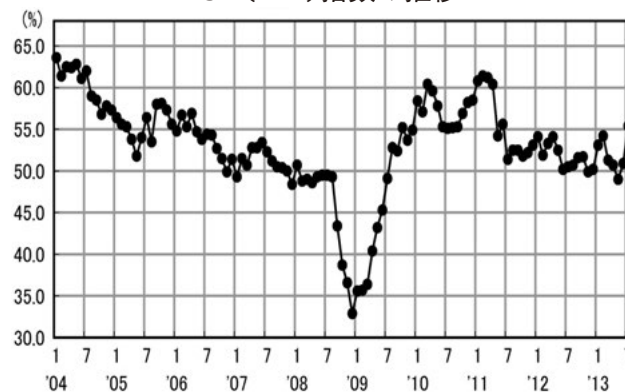
◆米国: PMI 55.7%(8月)

米サプライ・マネジメント協会 (ISM) の購買

管理指数 (PMI: 製造業350社以上のアンケート調査に基づく月次景況指数) の8月の調査結果について、ISMは次のようにコメントしている。「PMIは55.7%で、前月の55.4%から0.3ポイント増加した。8月のPMI指数は、今年最高値で、3か月連続で製造業の拡大を記録した。新規受注は、4.9ポイント増の63.2%、生産指数は2.6ポイント減の62.4%であった。雇用は、前月の54.4%から1.1ポイント減少して、53.3%となった。価格指数は、前月比5.0ポイント増加し、54%で、原材料価格は、前月比増となった。回答者からのコメントは、産業別に、低迷から回復まで、それぞれ状況が異なる回答が目立った。」

なお、8月の製造業の景況感について、対象18業種中、次の15業種が「企業活動を拡大した」と回答している。繊維機械、木工製品、電気機器・家電製品・部品、食料&飲料&たばこ、非金属鉱

ISM(PMI)指数の推移



産物、プラスチック&ゴム製品、コンピューター・電気製品、印刷・同関連サービス、家具類、鉄鋼・非鉄鋼、輸送機械、機械、化学製品、紙製品。

ISMが発表した8月の主要個別指数の前月比変動傾向は以下の通り。

項 目	2013年 8月指数	2013年 7月指数	備 考
I S M 指 数 (PMI)	55.7	55.4	前月比0.3ポイント増加。 PMIが50%を超えると製造業の拡大を示唆。
生 産	62.4	65.0	前月比2.6ポイント減少。 拡大の基準は、51.2以上である。
新 規 受 注	63.2	58.3	前月比4.9ポイント増加。 拡大の基準は52.2である。 12業種が増加を報告した。
受 注 残 高 (季節調整なし)	46.5	45.0	前月比1.5ポイント増加。 4カ月連続で縮小傾向。
サプライヤー納期	52.3	52.1	前月比0.2ポイント増加。 長期化の基準は、50以上。 8業種が長期化を報告した。
在 庫	47.5	47.0	前月比0.5ポイント増加。 拡大の基準42.7ポイント を上回った。5業種が在庫 増を報告した。
雇 用	53.3	54.4	前月比1.1ポイント減少。 7業種が増加を報告した。
仕 入 れ 価 格	54.0	49.0	前月比5.0ポイント増加。 9業種が増加を報告した。
輸 出 受 注	55.5	53.5	前月比2.0ポイント増加。 9ヶ月連続、増加傾向。8 業種が増加を報告。
原 材 料 輸 入	58.0	57.5	前月比0.5ポイント増加。 9か月連続、50%以上。

(ISM Manufacturing Report on Business 2013年9月3日付)

◆独機械輸出、上期3.2%減に

ドイツ機械工業連盟（VDMA）が26日発表した2013年上半期の機械輸出高は735億ユーロで、前年同期を3.2%下回った。欧州経済の低迷と世界経済の減速が響いた格好。輸入高は7.8%減の275億ユーロで、貿易黒字は460億ユーロに達した。

輸出の40%強を占める欧州連合（EU、7月に加盟したクロアチアを含む）向けは5.2%減の299億ユーロに後退した。欧州向けで増加したのはトルコ（12.4%増の20億2,700万ユーロ）やスイス（3.6%増の24億14,00万ユーロ）など少数にとどまる。

アジア向けも4.0%減の188億9,000万ユーロに落

ち込んだ。最大の輸出先国である中国が4.2%減の81億2,100万ユーロに縮小。インドも15.6%減の13億9,600万ユーロに後退した。韓国は好調で、13.3%増の16億6,800万ユーロに拡大している。

北米向けは0.6%減で、米国は2.5%減の69億400万ユーロに落ち込んだ。南米向けは4.9%減の35億4,400万ユーロ。

一方、アフリカ向けは14.6%増の21億5,100万ユーロに拡大した。前年に落ち込んだ北アフリカ向けが反動で盛り返した。

VDMAは下半期も輸出のマイナス成長が続くとみている。

(Press Release(2332) 2013年8月27日付)

◆独機械業界受注3カ月連続減に、7月-3%

ドイツ機械工業連盟（VDMA）が8月29日発表した独業界の2013年7月の新規受注高は前年同月を実質3%下回り、3カ月連続で落ち込んだ。国外受注が9%縮小して足を強く引っ張った格好。国内はプラス10%となり、4カ月ぶりに増加した。VDMAのエコノミストは国内受注が大きく伸びたことについて「低迷が続いた後では珍しくない」と述べ、国内需要が回復したとは言えないとの見方を示した。

特殊要因による統計上のブレが小さい3カ月単位の比較でみると、5～7月は前年同期比で実質4%落ち込んだ。国内が3%、国外が5%の幅でそれぞれ減少した。

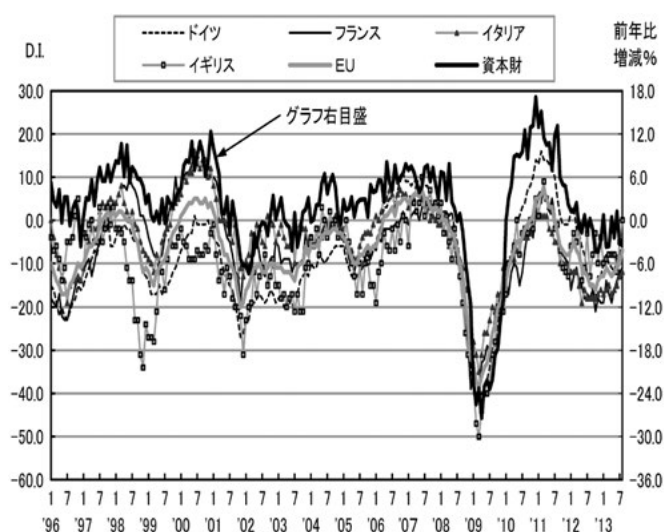
(Press Release(2336) 2013年8月29日付)

◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(8月)

欧州委員会の発表した2013年8月のEU主要国製造業景気動向指数（D.I.）（修正後）によると、EU全体では3ポイント増であった。国別では、ドイツが5ポイント増、フランスが1ポイント増、イタリアが1ポイント増で、イギリスは5ポイント増であった。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2013年7月は前年同月比で3.3%減となった。なお、2013年7月の数字は未発表である。

EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移



(欧州委員会 Monthly Survey of Manufacturing Industry
及び Industrial Production 調査)

◆ロシアの工具市場が拡大

ロシアの工具市場は約90%をドイツ、日本、中国、米国、インド、フィンランドなどからの輸入品が占めている。同国では建設業界を中心に工具の需要が順調に伸びており、今後も市場の拡大が期待できる。

13日発行の独経済誌『オストヴィルツシャフツレポート』によると、人気が高い工具メーカーとしてボッシュ、日立、フェスト、オリンピックなどが挙げられる。プロの間では品質に定評のある欧米メーカーの製品の人気が高いが、個人は安価なアジア製品を受用する傾向があるという。

ロシア国内には現在、約20社の工具メーカーがある。このうちノボシビルスク工具工場 (NIZ)、カムイシンハンドツール工場 (KZSMI)、ZSMI ラプテヴォ、イシェフスク工具工場 (IIZ) の4社が、国内の工具生産の7割を占めている。

ロシアの工具メーカーは、長

年にわたる国内の大手企業との顧客関係によって命脈を保っている。しかし、欧米メーカーに対抗できる品質を持つ電動工具を生産する能力はなく、汎用工具の分野では中国やインドの製品の流入で価格競争力を失いつつある。『オストヴィルツシャフツレポート』は、ロシアメーカーは、品質を向上させる以外に生き残る道はないと厳しい見方を示している。

(OstWirtschaftsReport (2691) 2013年8月13日付)

3. 工作機械関連企業動向

◆Hardinge Inc.、2013年第2四半期の財務報告

8月8日：高度金属切削ソリューションを国際的に提供する有数企業Hardinge Inc. (Nasdaq : HDNG) は、2013年第2四半期(4～6月)の財務報告を発表した。第2四半期の数字には、2012年12月20日に買収したUsach Technologies, Inc. と、2013年5月9日の買収以降のForkardtの事業が含まれている。

2013年第2四半期の純売上高は8,080万ドルで、前年同期の8,630万ドルから550万ドル、前年同期比で6%減少した。第2四半期の売上高のうち、買収による増加分は1,110万ドルである。買収を除いた本質的な売上高が減少したのは、主にヨーロッパの不況の影響で、2012年下半年の受注が鈍化したことが原因である。第2四半期は、買収に関連して売上高が増加したことと、アジア地域の成長によって、前期の2013年第1四半期から1,360万ドル、前期比で20%増加した。2013年第2四半期の純利益は230万ドルで、希薄株当たり\$0.19であり、一方、前年同期の純利益は360万ドル、希薄株当

2013年第2四半期(4～6月)の地域別売上高 (単位：千ドル)

販売地域	2013年第2四半期				2012年第2四半期	2013年第1四半期
	\$	シェア	前年同期比	前期比	\$	\$
北 米	26,116	32%	+26%	+5%	20,735	24,848
ヨーロッパ	24,743	31%	-7%	+18%	34,028	20,996
ア ジ ア	29,955	37%	-5%	+40%	31,557	21,375
合 計	80,814		-6%	+20%	86,320	67,219

り\$0.31であった。買収関連費用の100万ドルと買収在庫の漸増に対する評価調整の80万ドルを除くと、純利益は400万ドル、希薄株当たりで\$0.34になると考えられる。

2013年第2四半期の北米における売上高は、前年同期（2012年第2四半期）比で26%、540万ドル増加し、前期（2013年第1四半期）比で5%、130万ドル増加した。前年同期の売上高と比べると、買収に関連した売上高の増加は、本質的な売上高の減少を相殺しただけでなく、さらに押し上げた。アジアにおける売上高は、前年同期比で5%、160万ドル減少し、前期比では40%、860万ドル増加した。アジアでの売上高が前期比で増加したのは、同社のアジアでの事業活動が2012年後半から2013年にかけて活発になったためである。ヨーロッパにおける売上高は、前年同期比で27%、930万ドル減少し、前期比では18%、370万ドル増加した。ヨーロッパの不況の影響は、買収によって一部相殺された。さらに、ヨーロッパにおける工作機械に対する需要は、現在のレベルで安定していると見られる。

◆Hardinge Inc.、2013年売上高見通し

Hardinge Inc.は、2013年末までの売上高全体は、買収を含めても、2012年の売上高3億3,440万ドルから横ばいもしくは微減するだろうと予想している。サイモン氏は述べる。「ヨーロッパの経済は、依然として弱いとはいえ、少しずつ経済活動の安定の兆しが見え始めています。米国市場は、今年の初めに予想していたよりやや遅いものの、買収によって幾分の成長があります。アジアは、我々の顧客や市場の活動が需要を生み出したことで、引き続き売上高が増加しています。中国市場に関しては、マクロ経済的なデータに不確実なものがあるものの、我々は慎重ながら楽観的な見方をしています。我々は、買収を通して製品の品揃えを充実させており、利鞘は強化されるでしょう。また、ボリュームの増加と事業モデルの改善が、相当なテコ入れになると期待しています。」

(<http://ir.hardinge.com/releasedetail.cfm?ReleaseID=783785>)

4. その他

◆ユーザー関連トピックス

航空宇宙サプライヤー、フロリダ州に新工場を建設

7月31日：航空、船舶、自動車、採掘、工業、障害物警報/安全管理といった市場向けにハイテク電子機器ソリューションとLED照明製品を製造するAveo Engineeringは、フロリダ州フラグラー郡に工場を開設する計画を発表した。同社は、750万ドルを投じて、5万平方フィートの建物と6千平方フィートの格納庫を建設する予定である。同社は、Silkorsky、Gulfstream、General Atomics、Hughes MD Helicopters、Boeing、Lockheed Martin、Raytheonといった航空機メーカーと関係があり、米国、チェコ共和国、スロバキア、イギリス、インド、マレーシアに工場を持っている。

(<http://www.industryweek.com/expansion-management/aerospace-manufacturing-company-opens-new-plant-florida>)

クライスラー・グループ、ミシガンのエンジン工場に投資

8月7日：Tiger sharkエンジンの生産能力を高めるために、Chrysler Group LLCは、ミシガン州のトレントンとダンディーのエンジン工場に5,200万ドルを投資する計画である。トレントン北工場は、1,150万ドルをかけて、4気筒Tiger sharkエンジンの組立ラインを増強することになっており、ダンディー工場は、4,050万ドルをかけて、クランク、シリンダーヘッド、エンジンブロックの機械加工ができるようにラインを変更し、トレントン工場のTiger sharkエンジンの生産を支援する予定である。ダンディーエンジン工場では、1.4リットルのFIREエンジンとWorld Gasエンジンとともに、Tiger sharkエンジンの組立てを続けることになっ

ている。トレントン工場の新しいTiger sharkラインと、ダンディー工場のライン変更は、ともに第3四半期の末までに生産を開始する予定である。トレントン北工場は、2011年5月に操業を停止したが、クライスラー・グループは、その1ヶ月後に、1億1,400万ドルを投資して同工場の40万平方フィート近い部分を生まれ変わらせ、姉妹工場であるトレントン南工場で生産するPentastarエンジンのための主要コンポーネントを生産するという計画を発表した。トレントン北工場でPentastarエンジンの生産が始まったのは、2012年1月である。そして同社は、2012年11月に、さらに4,000万ドルを投資して、PentastarエンジンとTiger shark(I-4)エンジンの両方に対応できるフレキシブルな生産ラインを追加する計画を発表した。トレントン北工場では、新しい2014年型Jeep Cherokee向けに3.2リットルのPentastarエンジンも製造している。

ダンディーのエンジン工場は、2004年に建設され、Chrysler Groupの全額出資子会社であるGlobal Engine Manufacturing Alliance LLC (GEMA) が所有している。GEMAは、もともとは三菱自動車、Hyundai Motor Co.、DaimlerChrysler Corp.が共同出資する合弁企業であった。クライスラー・グループは2009年12月に、クライスラー・グループとFiat power train groupsの共同事業として、先端テクノロジーの燃料効率の高い1.4リットルエンジンを北米市場向けに生産するために、1億7,900万ドルを投資する計画を発表した。同社は2010年10月には、将来のエンジン生産に向けて同工場の生産能力を拡大して準備を整えるために、さらに1億5,000万ドルを投資することを発表した。1.4リットルエンジンの生産は、2010年11月に始まり、2.0リットルのTiger shark DOHCは、2012年3月に生産が始まった。FIREエンジンの生産のために2回目の変更が加わったのは、2012年8月6日である。今回の発表によって、クライスラー・グループの米国の施設への2009年6月以降の総投資額は、52億ドルを超えた。

(<http://media.chrysler.com/newsrelease.do;jsessionid=82FAB6A7A17B5D49F353A4DA3FFB6C23?&id=14642&mid=>)

GM、テネシー工場に新たな投資

8月6日：General Motors (GM) は、テネシー州スプリングヒルの組立工場で新しい自動車を生産するための投資予定額を、3億5,000万ドルにまで増額した。先に発表していた投資額の1億8,300万ドルに、1億6,700万ドルが追加されたことになる。今回の増額分は、2つのプロジェクトに向けたものである。まず1つ目は、将来の中型車計画を支えるために、先に発表していた1億8,300万ドルに4,000万ドルを増額して総額で2億2,300万ドルとするものであり、2つ目は、1億2,700万ドルを投資する新しい中型車計画である。これらの中型車計画は、同工場において現在行われている自動車組立、スタンピング、エンジンとコンポーネント部品の生産といった既存の製造業務に加わることになる。ナッシュビルの南40マイルに位置するGMのスプリングヒル工場は、幅広いプラットフォームで様々な製品を製造できるフレキシブル組立工場として運転されている。同工場の目的は、他工場が新製品のために機械設備を一新する際に、その生産活動を補完したり、売上げが急増した場合に、リアルタイムで応えられるよう生産を補強することである。Chevrolet Equinoxの生産が同工場で始まったのは2012年第3四半期であり、消費者の需要増大に応え、GM社のカナダにおける業務を補佐するのが目的であった。GMのスプリングヒル工場は、1990年から2007年には元Saturnブランドの基地となったところであり、完全一体型の複合工場として運営されている。

([http://www.autonews.com/article/20130806/OEM01/130809914/gm-to-invest-extra-\\$167-million-in-tennessee-plant-for-new-vehicles#axzz2e4uq5Szy](http://www.autonews.com/article/20130806/OEM01/130809914/gm-to-invest-extra-$167-million-in-tennessee-plant-for-new-vehicles#axzz2e4uq5Szy))

イタリアの自動車部品サプライヤー、インディアナ州に拡大

8月6日：トラックやエンジン市場に向けて空気圧、電気、流体システムを製造する Reflex & Allen Group は、インディアナポリスでの事業を拡大した。イタリアに本社を持つ同社は、米国で初めての工場を、2012年にインディアナポリスに設立した。今回の拡大は、同社の投資計画の第2段階であり、新しく先端チューブ押出しラインを加えることも含んでいる。1988年に創業した Reflex & Allen Group は、世界中の商業用大型トラックやエンジンの OEM のために製品を供給している。同社は、イタリア、イギリス、中国、インド、そして今や米国にも製造拠点をもち、それぞれ地域の市場に製品を提供している。

(<http://www.freenewspost.com/news/article/a/600118/tax/italian-automotive-supplier-expands-in-indiana>)

ドイツの自動車システムサプライヤー、米国初の工場建設にケンタッキー州を選ぶ

8月5日：ドイツに本社を持つ A. Kayser Automotive Systems GmbH の子会社である A. Kayser Automotive Systems USA は、1,750 万ドル以上を投資して、ケンタッキー州フルトンに工場を建設することを計画している。これは、Kayser にとって米国で初めての工場となる予定である。同社は、米国の顧客へのサービスを拡大して改善するために、フルトンにある既存の建物を改修して、改造、組立て、金属とプラスチックのコンポーネントや部品の検査などを行う予定である。

(<http://www.industryweek.com/expansion-management/germany-automotive-company-chooses-kentucky-first-us-plant>)

Cyclone WHE と Precision CNC、オハイオ州ランカスターにエンジン製造センターを建設

9月4日：“全燃料・クリーンテク Cyclone エンジン (all-fuel, clean-tech Cyclone Engine)” を開発

する Cyclone Power Technologies Inc. は、その子会社の Cyclone WHE LLC と、生産パートナー企業の Precision CNC LLC が、オハイオ州ランカスターに 16,000 平方フィートの製造工場を設立するために、The Windsor Company とリース契約を結んだことを発表した。この工場は、月産で少なくとも 1,500 台の Cyclone エンジンを生産し組立てられる広さを持っている。The Windsor Company は、この地域に多くの商業不動産物件を所有しており、Precision CNC と Cyclone が将来現在のスペースを拡大したり、新しい施設を建設する際にも協力することになっている。

(<http://www.areadevelopment.com/newsItems/9-4-2013/cyclone-power-technologies-manufacturing-facility-lancaster-ohio278931.shtml>)

NOHM Technology、530 万ドル以上を投じてケンタッキー州レキシントンに開発センターを建設

9月4日：NOHMs Technologies Inc. は、530 万ドル以上を投じて、軍事、携帯電話、電気自動車リチウムイオン電池のための最先端の研究・製造・製品開発センターを、ケンタッキー州レキシントンに建設する計画である。同社の計画では、162 人を雇用するとともに、Kentucky-Argonne Battery Manufacturing Research and Development Center とケンタッキー大学の Spindletop Administration Building を活用する予定である。Kentucky-Argonne Center は、Commonwealth of Kentucky、ケンタッキー大学、University of Louisville、アルゴンヌ国立研究所によるパートナーシップである。

(<http://www.areadevelopment.com/newsItems/9-4-2013/nohm-technology-investment-lexington-kentucky238913.shtml>)

ARC Automotive、テネシー州ノックスビルの製造センターを拡大

9月4日：エアバッグ・インフレーターを製造する ARC Automotive は、300 万ドルを投じて同社の

既存のテネシー州ノックスビル工場を拡大し、ノックス郡に115人の雇用を創出する計画である。ノックスビル工場は、1611 Third Creek Roadに位置し、研究、エンジニアリング、試作品作成、生産を専門に行っている。「ARC社は、1992年に製造とエンジニアリング業務をノックスビルに築いて以来、この地域に長きにわたって存在感を示してきました。」

(<http://www.areadevelopment.com/newsItems/9-4-2013/arc-automotive-plant-expansion-knoxville-tennessee189232.shtml>)

独ボイゼン、生産能力を大幅に拡大

独排気系部品大手のフリードリヒ・ボイゼンはこのほど、2億8,000万ユーロを投資して生産能力を大幅に拡大する計画を明らかにした。2012年半ばに大型受注を獲得したため、同契約では2年以内に工場数を10カ所から17カ所に増やすことが条件になっているという。生産拠点の増加を受け、従業員数は2012年末時点の1,980人から2014年には2,500人に増えるの見込んでいる。

すでにドイツ北部のアヒム（ブレーメン近郊）に建設した新工場が完成しており、現在は、タスカルーサ（米国）、イーストロンドン（南アフリカ）、河北省廊坊市（中国）で工場を建設している。製品は独高級車大手のBMWとメルセデス・ベンツに供給する。

6月には本社のあるアルテンシュタイクに近いナーゴルトに乗用車や商用車の開発業務を行うイノベーションセンターを開設した。同センターの従業員数は約120人を予定している。

ボイゼンの2012年通期の売上高は9億8,400万ユーロとなり、前年の9億6,900万ユーロを上回った。主要顧客であるBMW、メルセデス・ベンツ、アウディの独高級車大手が中国や米国市場で販売を伸ばしているため、西欧の自動車市場の低迷による打撃を相殺できているという。2013年の売上高は10億ユーロを超えると見込んでいる。

(Automobilwoche(2331) 2013年8月24日付)

Schaeffler、売上予測引き下げ

ベアリング大手の独Schaefflerは8月28日の決算発表で、2013年通期の売上成長率を従来予測の4%から2%に下方修正した。産業向け部門の業績が振るわないため。営業利益（EBIT）については従来予測の約14億7,000万ユーロを据え置いた。

13年6月中間期決算の売上高は56億1,400万ユーロで、前年同期から0.7%減少した。自動車向け部門は6.2%増の40億7,600万ユーロと好調だったものの、産業向け部門が13.5%減の15億3,800万ユーロに落ち込み足を強く引っ張った。

EBITは7.2%減の7億2,400万ユーロ。部門別の内訳は自動車向けが15.1%増の5億7,900万ユーロ、産業向けが47.7%減の1億4,500万ユーロ。最終利益は11.3%増の5億6,100万ユーロに拡大した。

産業向け部門の業績が低迷するのは、景気の先行き不透明感を背景に需要が鈍っているため。特にアジアの顧客が発注を控えているという。

(Press Release(2333) 2013年8月28日付)

ティッセンクルップ、テーラードテンパリング設備を開発

独ティッセンクルップ・システムエンジニアリングは、独アウディ、墺エーブナー・オーフェンバウと共同で新たな高温材料製造設備を開発した。同設備の目玉はテーラードテンパリング（局部焼入れ）技術で、部材個所に応じて異なる機械的特性を付与することができる。稼働開始は9月末の予定だ。

テーラードテンパリングは、金型に温度差をつけて組織変態をピンポイントで制御するもので、1枚の鋼板から部位毎に強度や機械特性の異なる構造部材を成形できる。ティッセンクルップなどの開発した新装置は、成形とトリミングを同時に行うホットトリミングにも対応しているほか、全自動工具交換システムも備えており、人手を一切使

わずに同時に4パーツまで短時間で交換できる。
(Springerprofessional(2335) 2013年8月28日付)

インド：8月の自動車販売台数：乗用車が10カ月ぶりのプラス【バンガロール発】

インド自動車工業会（SIAM）が発表した2013年8月の自動車販売台数は、乗用車が前年同月比15.4%増の13万3,486台となり、10カ月振りのプラス成長に転じた。ただ、昨年8月は、最大手マルチ・スズキの販売台数が暴動による操業停止で激減した月となり、今回のプラス成長は、マルチ・スズキの特殊要因による反動増にすぎず、低迷期をまだ脱してないと見られている。一方、多目的自動車（SUV）の販売は前年同月比12.6%減、バンは同18.7%減とそれぞれ2桁台の落ち込みとなり、市場の冷え込みが一層鮮明になっている。SUVとバンを含んだ乗用車全体の販売台数は、19万53台で、前年同月比4.5%増となった。

メーカー別では、販売統計が公表されている主要14社のうち、8社の販売台数が減少となった。乗用車（SUVとバンを除く）の月間販売としては、最大手のマルチ・スズキが、6万3,499台で前年同月比倍増となった。2位の現代自動車は同0.3%増の2万8,281台とほぼ横ばいで、タタ・モーターズが50.6%減の8,761台と大幅な落ち込みが続いている。

二輪部門では、スクーターの月間販売台数は28万3,142台で、前年同月比21.4%増と堅調な伸びを続けている。オートバイは79万5,378台で、同3.8

%増と再びプラス成長に転じた。最大手ヒーローは39万5,180台のオートバイを販売したが前年同月比1.6%の微増と伸び悩んでいる。第2位のバジェージも15万989台で、同22.6%の急減となった。一方、Hondaは同48.7%増の14万4,039台となり高成長を続けている。二輪車全体の月間販売は、前年同月比6.7%増と再びプラスに転じた。

商用車部門でも不振が続いており、月間販売台数は、前年同月比23.1%減の5万1,334台と二桁台の減少幅で落ち込みとなった。うち、中・大型が38.2%の大幅減、小型も14.0%減といずれも厳しい状況にある。

三輪車を含む自動車全体の月間販売台数の合計は、前年同月比4.5%増の141万2,512台となり、5カ月ぶりのプラス成長となった。SIAMによれば、「経済減速が自動車各部門の需要を抑制しているが、モンスーン期の十分な降雨量、ディワリ期の祭事商戦、来春の総選挙と、市場に活気を与える3点の好材料もあり、今後の本格的な市況回復への期待が広がる」と明るい見通しを示している。

国内販売の低迷とは対照的に、乗用車とUVを合わせた8月の輸出台数は5万9,903台と63.0%の大幅増となった。オートバイ輸出は24.1%増と大きく拡大したが、商用車は0.8%の微減となった。三輪車を含む自動車全体の月間輸出台数は28万8,867台と、前年同月比24.9%の大幅増となった。

(ジェトロ・バンガロール インド短信 2013年9月17日)

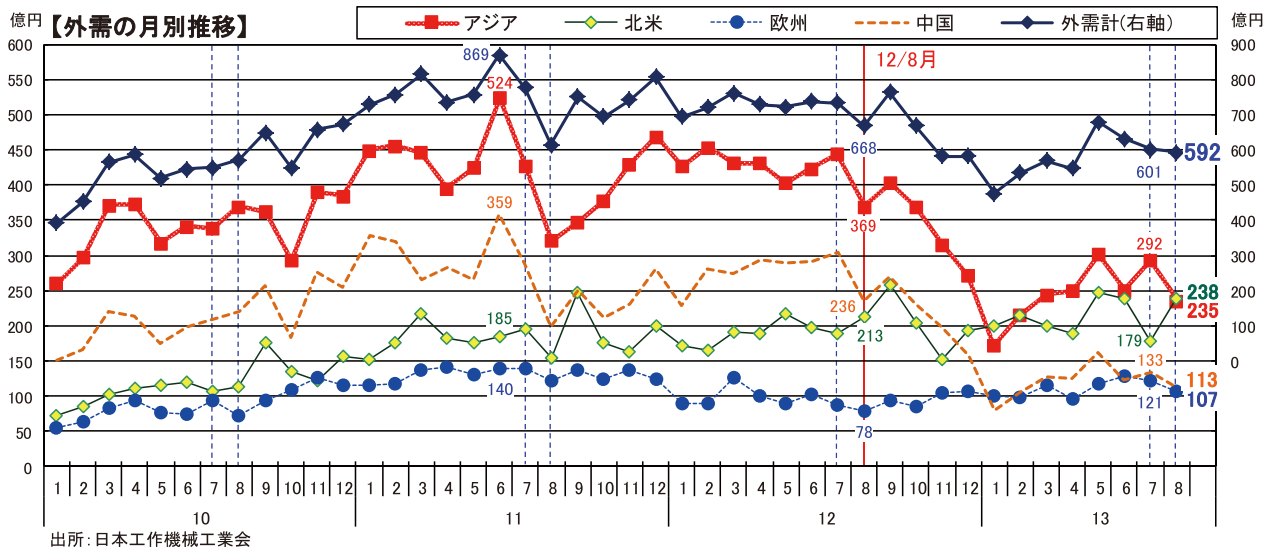
5. 日工会外需状況(8月)

外需【8月分】

591.9億円（前月比△1.5% 前年同月比△11.4%）

外需総額

- ・前月比 3カ月連続減少 前年同月比 11カ月連続減少
- ・4カ月ぶりの600億円割れ
- ・主要3極では、北米で増加したが、アジア、欧州が減少



外需【8月分】

主要3極別受注

①アジア

- ・アジア計は、2カ月ぶりの250億円割れで前年同月比は11カ月連続減少
- ・東アジアは、前月比が全ての国・地域で減少したが、前年同月比は中国以外で増加
- ・その他のアジア（インド、ASEAN等）では、タイ、インドの前年同月比減少が影響し、合計でも3カ月連続で前年同月比減少

②欧州

- ・欧州計は、3カ月ぶりの120億円割れだが、4カ月連続の前年同月比増加で、4割弱の増加幅と回復傾向は継続
- ・ドイツも、前年同月比4カ月連続増加で受注額も4カ月連続の30億円超

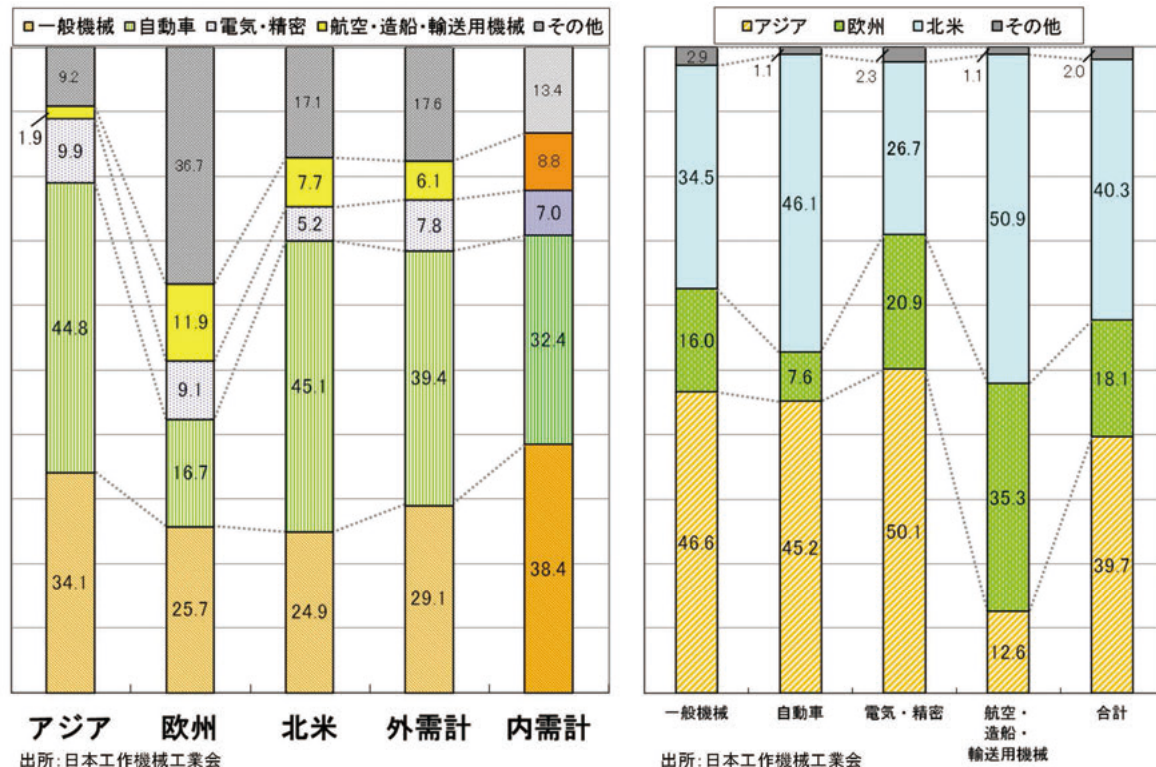
③北米

- ・北米計はアメリカのスポット受注により、前年同月比は2カ月ぶりに増加となり、受注額も2カ月ぶりの200億円超

国・地域	受注額 (億円)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
アジア	234.9	△19.5	△36.3
東アジア	159.4	△20.0	△42.0
中国	112.8	△14.9	△52.3
その他のアジア	75.5	△18.6	△19.8
タイ	20.7	△63.0	△55.3
インド	9.4	△20.8	△62.1
欧州	107.0	△11.6	+36.4
ドイツ	32.4	△14.1	+13.2
北米	238.4	+33.5	+11.9
アメリカ	211.8	+36.4	+17.7

外需【8月分】

主要3極別・業種別受注構成



外需 地域別構成の推移

8月は、北米の占める割合が6カ月ぶりに4割を超える

